

令和7年度

川口市立新郷南小学校

稲作体験



第5学年

特色

- 本校には学校の校庭の一部に田んぼ専用の区画がある。5年・総合的な学習の時間「一粒のお米から」の単元での学習活動を通して、米作りに関心をもち、環境と食の関係性について考えられるよう稲作に取り組んだ。

上記の写真は、近隣 JA から提供された稲の苗を、JA 職員の方の指導の下、5年生一人ひとりが田植えをしているものである。

秋には立派な稲穂が田んぼ一面に広がった。収穫した米は、5年生全員で分けあった。

児童の感想

- 田植えの時は腰をかがめたままやらないといけなかったので大変でした。でも、たくさん収穫できてうれしかったです。ご飯にして食べたらとってもおいしかったです。

成果

- 米作りには八十八もの苦労があることを体験的に学んだことで、農家の仕事の重要性と現在の米の価格高騰について考えるきっかけとなった。
- 自分たちで収穫したお米を食べることで、お米一粒の大切さ、食への関心が高まった。